西濃地区家庭教育応援通信 No9 令和7年11月4日発行



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係 家庭教育推進専門職 酒井 年 電話:0584-73-1111 <内線212> E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての 相談はこちらまで。 お待ちしています。



家庭教育応援通信 令和6年度バックナンバー

これも「話そう!語ろう!わが家の約束」運動

大谷翔平選手も作成したマンダラチャートを活用しました。目標とそのための行動を親子で共有する在宅取組型家庭教育学級です。「話そう!語ろう!わが家の約束」運動は、「めあてを決め、取り組み、親子でふりかえる活動」ですが、これは、将来という長期のめあてづくりを通して、親子のコミュニケーションをつくる活動です。実践カードはありませんが、これをもとに親子の協力した行動が始まれば、こんな素敵なことはありません。

【活動の目的】

郡上市立八幡西中学校 なりたい自分になるために

親が我が子の夢や目標を知り、共に考え話し合う機会をもつことで、親子のコミュニケーションを図り、中学校生活をより良いものにしていってほしいという願いを込めて、取り組みました。

【取組の様子】

○親子で取り組んだ マンダラチャート 実践例

夢「イラストレーターになって人を笑顔にできる絵を描く」



○活動のふり返り

今回自分の夢について向き合って、目標が立てられて良かったです。夢の実現に向けて、お母さんが、私の夢を応援してくれて、協力しようとしてくれて嬉しかったです。(生徒より)

幼い頃のように将来の夢について簡単に口にしなくなり、何を考えているのかな?と思っていたタイミングでのマンダラチャートでした。時間をかけてじっくりと2人で考えることができて、とても良い機会をいただけました。(保護者より)

【取材を終えて】

「保育士になりたい。」「バスケ日本代表になる。」「料理に関わる仕事をしたい。」 生徒たちの夢や目標を親子で共有し、共に歩んでいただけるこの取り組みを、今後も続けていかれ ることを期待しています。 大垣市立宇留生小学校 家庭教育学級

親子でチャレンジ!「ポーセラーツ」

令和7年8月21日(木) 13:30~15:00 希望親子対象

簡単だけど個性的な作品がいっぱい

「ポーセラーツ」とは、真っ白な磁器に、シールや絵の 具で絵柄をつけて焼き付ける作品づくりのことです。 講師の方が持ってきてくれたデザインシートから

- ① 好きな部分を切り取り、水に浸す。
- ② 台紙からはがれてきたシールを自分のお皿やマグカップに貼り付ける。
- ③ ゴムのへらで間の水や空気を追い出す。

あとは、講師のお家の窯で焼きつけるとできあがり。 簡単だからこそ、個性あふれる作品になります。なにより、切り取ってシールを集め、それをレイアウトする作業 は、好きなものをコレクションをしているような楽しい気 分になります。そして、作りながら、「かわいい!」「素 敵!」「いいね!」の言葉をもらえると、うれしくなりま









大垣市出前講座を利用した「体験活動参加型」

4月に大垣市市民活動推進課から「飛び出せ市役所出前講座ガイドブック」が配付されます。その中から講師を選び、お願いしました。









赤いサクラン ボと白黒の果物 の断面で統一感 を出しました。 次男の好きな乗り 物や動物を貼り付け てサプライズプレゼ ントにします。 お皿を洗って 伏せたときにも 絵柄がみえるよ うにしました。

講師から最初の説明

最後に作品発表

「一歩前進」

- 家庭教育学級の講師を頼むため、大垣市から配付された冊子を 利用しました。お皿やカップにシールを貼り付けるという、ど の学年でも無理なくできる活動にしました。
- 教頭先生のお子さんは、すでに独立してみえますが、昔、親子で絵付け体験をしたカップが食器棚に残っているそうです。
 「思い出の1つとして大事にしています。」という言葉は、作品作りへの意欲を高めました。

参加者の感想

- 初めてポーセラーツを体験しました。難しいイメージでしたが、 切って、貼って、空気を抜くという簡単な作業。すべてが楽しかったです。
- ずっと前から娘と一緒に体験してみたかったので、夏休みの宿 題提出日というナイスタイミングで参加できたことをうれしく 思います。
- 親子ともスマホやタブレットから離れて、落ち着いて集中できる時間になって良かったです。

大野町立北小学校 家庭教育学級

親子で作ろう万華鏡作り!

夏季休業中

対象: 1年生親子

笑顔と学びを育む親子制作

北小学校では、毎年夏季休業中に家庭教育学級で親子制作を 行っています。昨年度は、マグカップに絵を描いて、オリジナ ルマグカップを作りました。今年も家庭教育学級委員さんが話 し合って万華鏡に決めました。

親子で一緒に作品を作ることで、自然な会話や笑顔が生まれ、 信頼関係も強まります。忙しい日常では得られない「共有の時間」が、子どもにとって安心感や親からの愛情の実感につながります。

また、「自分で作れた」「親に褒められた」という体験が、子どもの自信になります。失敗してもやり直せる経験が、挑戦する力や粘り強さを育てます。

また、万華鏡を作る経験を通して、その仕組みや素材の特性についての学びにつながります。何より、一緒に作った作品や写真は、夏休みの大切な思い出になりました。そして、子どもが大人になっても、「あのとき、一緒に作ったな。」という記憶は心に残ります。

北小学校の保護者の感想を読ませていただきました。一緒に 万華鏡を作ったことで子どもの成長に気付いたり、子どもが夢中になる姿を見て自分もうれしくなったり。「親子一緒に」何かをする体験は大事だなあと改めて感じました。

教材キットを利用した「在宅取組型」

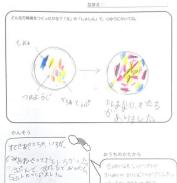
親子で作ろう万華鏡作り♪





ゲーズを入れたり、好きな色の折り 紙を貼って、オリジナルの万華鏡が作れました。万華鏡の仕組みが分かり、 とても簡単に作れるのに、キレイな仕 上りにびっくりしました!!

親子で作ろう万華鏡作り♪



説明書をしっかり読んで、ていねいに 取り組むことができました。いろいろな 形が見えて、とてもきれいだったね。



「自分でできた!」「作るって楽しい!」「万華鏡って不思議!」 子どもの姿から親の喜びが生まれます。

- 説明書を見ながら 自分で作れてよかったね。
- 小さな紙やモールを上手に細かく切ることができました。自分で最初から最後までやろうとがんばる姿が見られました。
- 上手にはさみを使って切ったり、貼ったりしてました。
- 楽しそうに作っていました。何回も作り方を見てやり直すことをくりかえしていました。
- 自分で上手に作れました。振ってから見ると、いろいろな形に変化してきれいだったね。
- 初めての万華鏡に感激していました。
- 自分で作ったから、万華鏡のしくみが よく分かりましたね。
- 作る楽しさと、覗き込んだ際の見え方の違いの新鮮さを感じることができたと思います。
- 他にもいろいろな形を見れるといいですね。



思いがけない 美しさに引き込 まれます。







大野町立大野小学校 家庭教育学級

メディアリテラシ・

第1回:令和7年 6月30日(月)~ 7月6日(日) 第2回:令和7年12月 1日(月)~12月7日(日)

全校親子対象

長期休業前に親子でメディアを考える

PTA生活安全委員会が中心となり、夏休みと冬休みの長期休 業前に、「ノーメディアがんばりカード」を使い、めあてを決 めて取り組みます。めあてがとても具体的で明確です。

※「メディア」とは、テレビ・ゲーム・ビデオ・パソコン・タ ブレット・スマートフォンなどを指しています。

- ① 夜8時以降はメディアを使用しない。
- 寝る1時間前にメディアの使用を終える。
- 食事中はメディアを使用しない。

の3つを基本にして、寝る時刻も

- 1・2年生 9時まで
- 3・4年生 9時30分まで

と目安を示すことで、十分で質のよい睡眠の確保と親子のコ ミュニケーションの機会を増やすことをねらいとしています。

5・6年生 10時まで

「一歩前進」

- 大野町では、小学校1年生の保護者の方が家庭教育学級 委員となり、対象も1年生ですが、「話そう!語ろう! わが家の約束」運動を全校で行うなど、対象を広げてい ただいています。
- 大野小学校では、昨年度の末から、全校の親子対象で大 学の吹奏楽部を招待してのコンサートを行いました。今 年度から、「心と身体で親子の絆を深めよう」という テーマで、全校対象の家庭教育学級を基本として取り組 んでいます。

生涯安₂通信

PTA生活安全委員会による「在宅取組型」

「第1回目メディアリテラシーの取組」ご協力ありがとうございました。

、中、『第1回目のメディアリテラシーへの取録 本品会で、メディアリテラシーの取組実施後 お古いい中、田 「四回のグテイアリアランーの収録組入の、協力のシのとうこといるのだ。 生活安全委員会で、メディアリテラシーの収録主義後の確認をいたしました。めあてを決め、積極的に取り組 もうとする姿が多くかられ、有意義な期間であったことが伝わりました。 一部児童と保護者の意見・感想をご紹介します。

児童の感想 保護者の方の感想

後れてイライラ

心に余裕ができる SNS に翻弄されない心の安息

面、長時間の利用は、私たちの心に 慢性的なストレスも与えます。ノー メディアとは、そんな情報過多の生 活を見違し、心のゆとりを取り戻す ための取り組みです。今度は、ぜひ

報機器は、私たちの生活をより使料 で豊かにしてくれましたが、その反

第2回目は12月1日(月)~12月7日(日)を予定しています。

通信で取組みのよさを伝え ることで、冬休み前の2回目 につなぎます。

学年ごとの児童と保護者の感想を紹介しています。保護者もいつの間にかスマホを手にしている事に気づき、メディアよの付き合い方を意識するようになりました。
また、ノーメディアとすることで、読また、ノーメディアとすることで、読また、ノーメディアとすることで、読また、ノーメディアとすることで、読また、ノーメディアとすることで、読また、ノーメディアとすることで、読まな時間が増えたという感想がありました。 という感想が 増えたりする という感想が

「疲れてイライラ」する メディア機器の影響や「心 に余裕ができる」ノーメ ディアの効果について紹介 しています。

★取り組むめあてを染める。(装飾のめあて①~③の節から選ぶ。荷橋選んでも良い。)

	6/30	7/1 (火)	7/2 (水)	7/3 (木)	7/4 (金)	7/5 (±)	7/6	
できたら 〇	0000	000	000 300 X	00 20 30 X	0000	900 300	0°	

【ノーメディアがんばりカード】

〈4年生親子の感想〉

2日0にできなかったけれ ど、5日間〇だったのでうれ しかったです。

①②は日頃からのルールだ から、毎日守れたね。食事中 のノーメディアも2日間以外 は守れてよかったね。

揖斐川町立大和小学校 家庭教育学級

木 育 教 室

令和7年8月2日(土) 10:00~11:00 大和公民館 対象:希望親子



木とのつながりが多い揖斐川町

揖斐川町の面積の約91%は森林です。そのため、木とのつなが りが多くあります。

いびがわ図書館は、岐阜県の杉やヒノキをふんだんに使った施 設で、夏休みに子どもたち対象に木で作られた造形ブロックを積 み上げる検定を行っています。幼児園や子育て支援センターでも、 木に触れたり、木製遊具で遊んだりする木育活動が行われていま す。また、ぎふ木遊館サテライト施設として「いび木遊館」が令 和9年4月開館予定であることが発表になりました。今後、いっ そう木製遊具や木のおもちゃでの遊びを通じた木育体験ができる ようになります。

大和公民館事業と大和小学校連携の木育教室は、長年続いてい る家庭教育学級で、今回は、昨年に引き続き、親子で木のプラン -を作りました。



公民館の前には、子ども たちが育てた花のプラン ターが飾られていました。 公民館からのお礼の言葉も 掲示してありました。日頃 からの学校と公民館とのつ ながりを感じます。

公民館事業との連携した「体験活動参加型」

会場に広がる木のにおいと木の音

講師の説明のあと、材料を配付し、プランター作りが始まりました。 エアコンが入っていても、暑さを感じるぐらいの日でしたが、1年生 から6年生までの子どもたちは、保護者の助けを得ながら、木の部品 を釘で一つ一つ組み立てていきました。でも、金づちを使うのは初め ての子どもは、力加減が難しく、部品を外して打ち抜いてしまうこと もあります。そんなときは、講師に助けを求め、釘をぬいてもらい、 再チャレンジです。

会場には、木のにおいが広がり、釘を打つ音が響きました。時間が たつにつれ、その音は、リズミカルになっていきました。体験するこ とで、技能はついていくものですね。



トントン よう慎重にト, 釘がずれな! たト







持って記ったプラン

教頭先生がこの日の朝、木育教 室に参加する親子のために、学校 の畑のバジルをたくさん刈り取っ て、持ってきてくれました。これ を使って親子でバジルソースやバ ジル塩を作って食べるのも家庭教 育ですね。

ノベジル、です。

ご自由にお持ち帰りください。

学校の畑で、虫よけ用に栽培してきまた。 花がついて、とろそろをが換もおれてしまうので

よられたら家でお子様もいりしらにバジルソースな どにチャレンジレスみてください。 (作の方はおりにたくは出ています)

無農薬で、しがも 学校のケヤキの落ち葉を腐棄土 にしたものを地に入れて青った「大和小産」です。 家庭で話題にしていただけるとありがたいです。

(「もとはいり」というながみとまれて、一本本にご相談のされ、)

大和小 小林



- 講師は、里山インストラクター、山菜アドバイザーなど地 域でいろいろな活動している方です。プランターで使用す る木板を切り、子どもたちがけがをしないようにやすりを かけ、釘を打ちやすいようにガイド穴をつけて持ってきて くれました。釘や金づちも準備もしていただけました。
- 今後、公民館と連携した家庭教育学級を増やしていきたい という公民館主事さんの言葉がありがたいです。
- コミュニティースクールへの移行にともない、大和小学校 では、学校で行われる授業や行事で、保護者や地域の人の 参加が可能なものについて、チラシを作って大和地区住民 に案内を送り、参加を促しています。

子どもと大人で幸せを考える討論会(高山市立宮中学校)

持続可能な家庭教育学級として、学校の授業、行事と連携して家庭教育学級を行うことは、学校においても、家庭においてもwin&winの関係になる内容です。討論会という方法も、これから子どもたちの将来に必要な力を育てます。

「幸せとは何か?」

生きてきた時代の違う子どもと大人が同じ場で交流することで、多様な幸せの在り方を知り、自分の考えていなかった幸せも幸せなことだと気づきます。

何よりも、親子で同じ内容について深く考える時間は、幸せな時間となっています。



□ 高山市立宮中学校 テーマ: PTA 親子道徳【子どもと大人で行う討論会】

「幸せになるために必要なことは? ~あなたの幸せは何ですか~」 学校行事(授業)参加+体験型 〇期日 令和7年6月26日(木) 〇場所 各教室 〇主催 PTA 教養部 〇対象 全校親子



·PTA 教養部会の新たな試み!

これまでの講演会型の取組を見直し、『生徒と保護者が主体的に活動し、より自分ごととして考えたり行動に結びつけたりできる力を育みたい!』という願いから、この企画が生まれました。

・多様な価値観を生み出す工夫

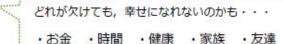
全校生徒が異年齢の6グループに分かれます。また,保護者は わが子とは異なるグループに参加します。異年齢で交流することで, 生徒も保護者も新たな気づきや発見,意識の変容が生まれることを 期待しました。



幸せになるために、必要なことは・・・









親子で「幸せ」について考えるってすごい、おもしろい! 大きなテーマに向かって、全学年の生徒と保護者の皆さんが楽しくも真剣に 交流し一枚の模造紙にまとめていきました。

話して、聞いて、考えて・・・、この新しい取組自体が参加者みんな の幸せをつくり出している時間であり、宮中学校の幸せを創造する 取組だと感じました。

グループ交流において一人の生徒の『家族と笑い合えることや仲間と直接会って笑うことは、オンラインでゲームをしていて笑うこととは違うと思う。オンラインゲームでは、ゲームの楽しさだけで笑っているような気がする』という発言が、印象的でした。幸せについて、追求し考え抜いた言葉だと感じました。

<保護者の感想>

- ・みんなで意見を出し合ったことで、自分では気づかなかった気持ちなどを知ることができ、子どもも大人も幸せについて考えながら、毎日を大切に生活していけるのではないかなと思いました。
- ・ディスカッション形式で言葉にして、さらにまとめて発表することも、生徒だけではなく保護者などふだん関わりのない人から意見を吸い上げてまとめることも、これから必要な力だと感じました。

